

方法書の知事意見に基づく 残土処理計画の変更の報告について

株式会社Loop

概要

1.1 事業計画概要

1.1.1 事業計画概要

1.1.2 事業の背景と目的

1.2 環境影響評価

1.2.1 環境影響評価手続き概要

1.2.2 環境影響評価項目

1.2.3 説明会実施状況

1.3 方法書時点からの事業計画の見直し

1.3.1 方法書時点の土地利用計画に対する知事意見概要

1.3.2 事業計画の見直し概要

1.3.3 土地利用計画案①

1.3.4 土地利用計画案②(最終)

1.3.5 建設残土搬出先

1.3.6 工事工程概要

1.4 重要種の分布と土地利用計画

1.1.1 事業計画概要

事業計画地

- 事業名称

諏訪市四賀ソーラー事業（仮称）

- 事業実施所在地

諏訪市四賀7718-29,-40,-41および7679

- 事業種別

太陽光発電所（電気工作物の建設）

再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用し20年間にわたり電力会社に売電
制度終了後も当社電力小売事業の電源
として活用するため事業を継続

- 事業実施区域面積

196.5ha（188ha）

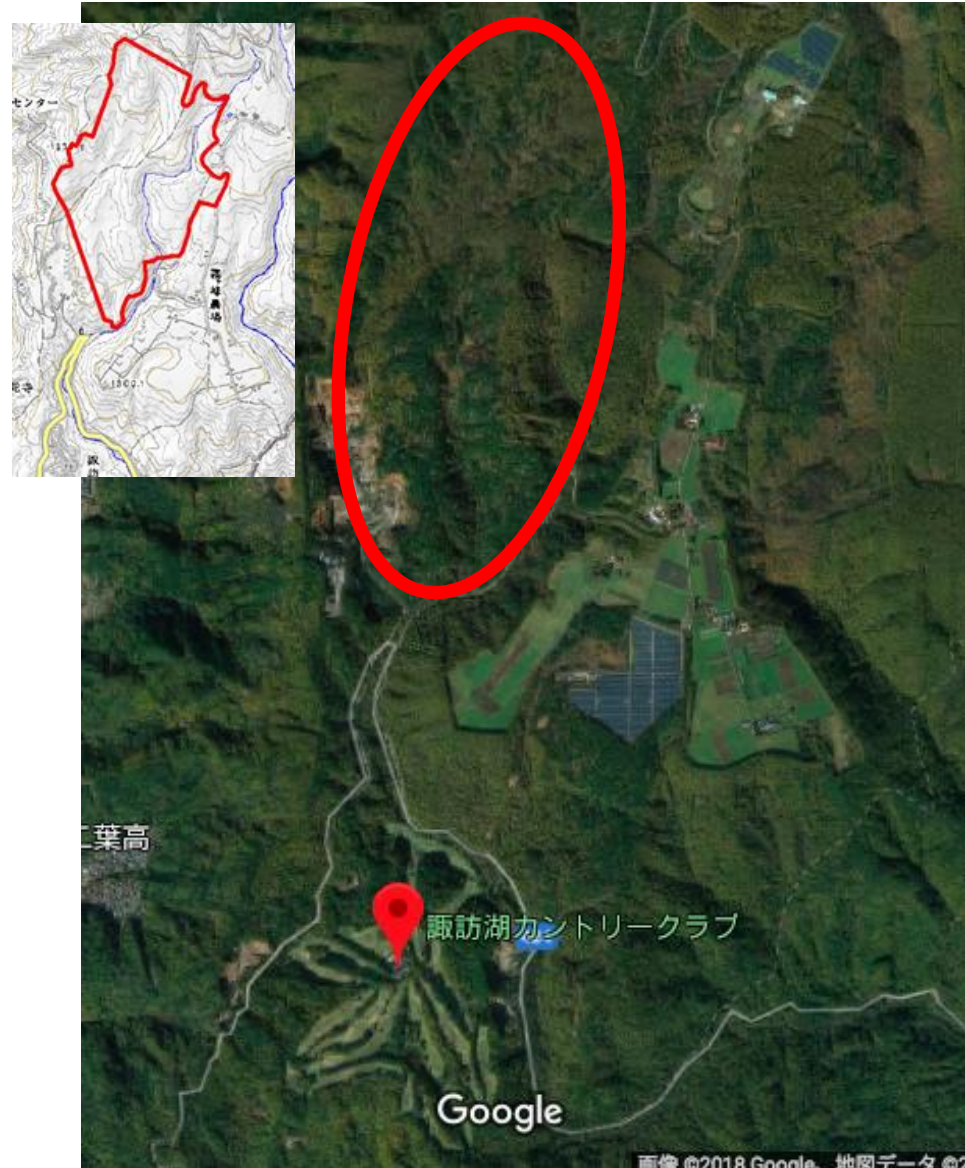
うち パネル設置区域 :88.6ha（95ha）

残地森林区域 :97.4ha（82ha）

道路建設区域 :7.6ha（8ha）

調整池区域 :2.9ha（3ha）

※（）内は方法書時点の計画値です。



画像 ©2018 Google, 地図データ ©2018

(googleMAPより引用)

1.1.2 事業の背景と目的

本事業用地は、地権者である牧野組合、共有地組合、山林組合が以前牧草地として活用していたが、その需要が逡減していく中で、植林が行われ現況に至っています。

治山
力
向
上



計画地内には、湿地などの貴重な自然環境もあるが、必ずしも維持管理が十分に行き届いていない区域もあり、倒木などもある。

再
エ
ネ
普
及

1. エネルギー自給率(約6%)の向上
2. 温室効果ガスの削減
3. 2030年時点の望ましい電源構成(再生可能エネルギー22~24%:現在の約2倍)への寄与
4. 長野県の再生可能エネルギー導入目標達成への寄与

1.2.1 環境影響評価手続き概要

平成25年8月 自主環境調査開始

平成27年9月 林地開発事前協議提出

平成27年11月 環境影響評価対応決定

平成28年1月 環境影響評価改正
条例施行
(大規模太陽光が環境影響評価の対象となる)

平成28年6月 方法書手続き終了

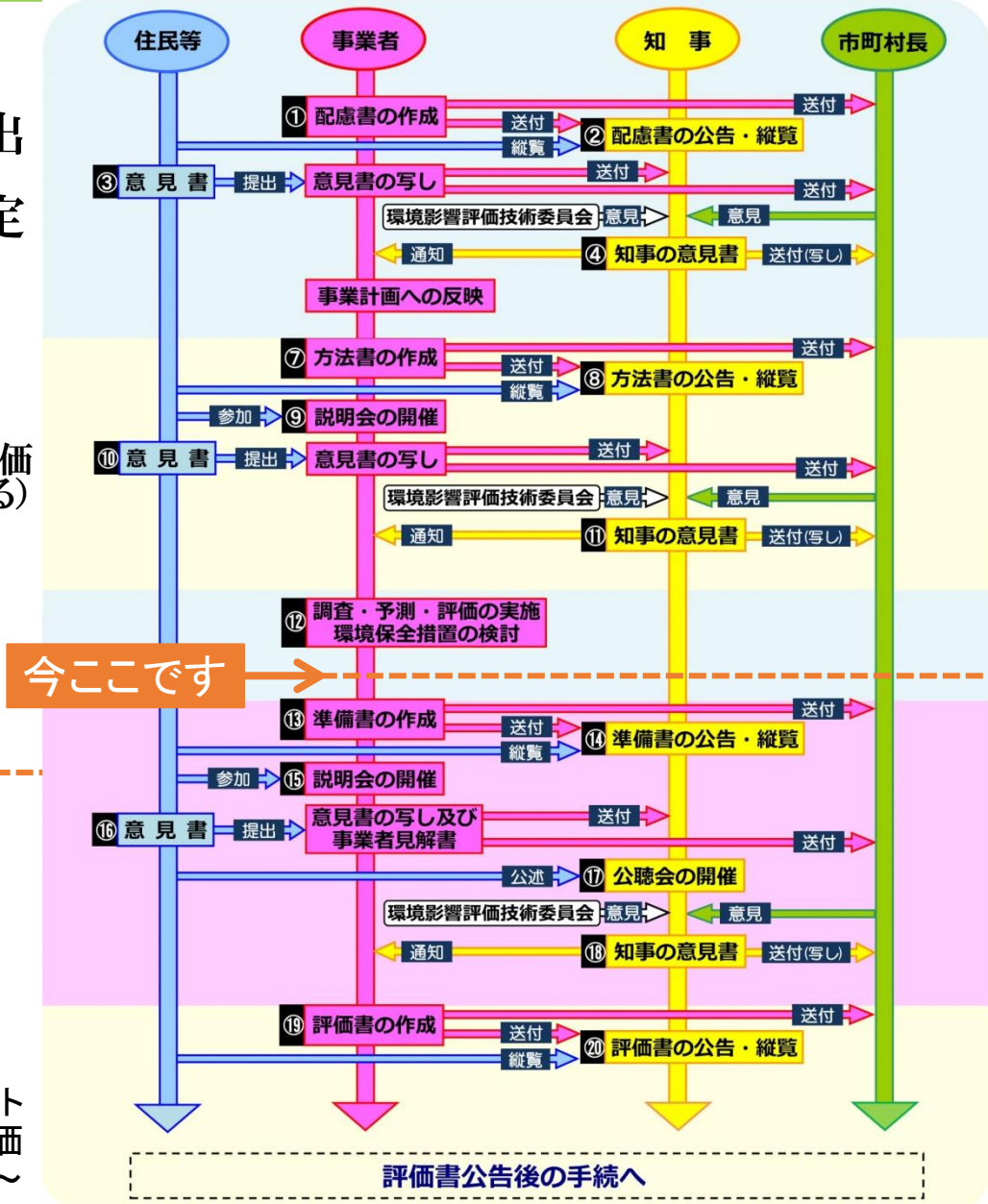
平成29年9月 現地調査終了

準備書作成

平成30年春 準備書公告・縦覧

平成31年春 着工

平成34年 送電開始



出典：環境アセスメント
～長野県の環境影響評価
条例のあらまし～

1.2.2 環境影響評価項目

- 方法書から、以下の項目について変更
 - 「触れ合い活動の場(工事)」、「電波障害(存在・供用)」を追加
 - 「水質」(存在・供用対象外)「水象」「地形・地質」「景観」は標準化項目へ変更

環境要素		大	騒	振	低	水	水	土	地	植	動	生	景	触	文	廃	温	電	光
		気	音	動	周	質	象	壤	形	物	物	態	観	れ	化	棄	室	波	害
		質	音	動	音	質	象	汚	・	物	物	系	観	合	財	物	効	障	害
調査		○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—	—	○	○	○
予測・評価	工事	○	○	○	—	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	—	—
	存在・供用	—	○	○	○	—	○	△	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○

【現地調査】○:実施、—:なし(既存資料等の活用) 【予測・評価】○:標準化項目、△:簡略化項目、—:対象外

1.2.3 説明会実施状況

	環境調査	地域住民説明（敬称略）	林地開発
平成25年8月	・環境調査開始		
平成26年11月			・事前協議
平成27年1月		・茅野市米沢地区区長会説明（1/30） ・諏訪市説明会（1/31）	
平成27年2月		・霧ヶ峰牧場説明会（2/1） ・茅野市説明会（2/6）	
平成27年4月		・米沢地区区長会質疑応対（4/15）	
平成27年5月		・創価学会信越事務局説明（質疑応対）（5/18）	
平成27年6月		・米沢地区区長会説明（質疑応対）（6/15）	
平成27年8月		・米沢地区区長会説明（質疑応対）（8/3）	
平成27年9月		・創価学会信越事務局質疑応対（9/3） ・米沢地区区長会説明（9/7）	
平成27年10月		・米沢地区区長会説明（10/7） ・茅野市説明会（10/10）	
平成27年11月	・環境アセス対応決定	・茅野市説明会（11/14）	
平成28年1月	・環境影響評価調査開始	・茅野市方法書説明会（1/29）	
平成28年2月		・諏訪市方法書説明会（2/16）	
平成28年6月	・方法書手続き終了		方法書手続き終了後の説明会
平成29年2月		・茅野市水象調査説明会（2/15） ・諏訪市水象調査説明会（2/16）	
平成29年9月		・諏訪市議説明（9/22）	
平成29年11月		・諏訪湖漁業協同組合、諏訪東部漁業協同組合説明（11/7） ・茅野市議説明（11/13） ・諏訪市内酒蔵会社（諏訪五蔵）説明（11/14）	
平成29年12月		・創価学会信越事務局説明（12/13）	
平成30年1月		・諏訪市準備書事前説明会（1/25） ・茅野市準備書事前説明会（2/2）	

1.3.1 方法書時点の 土地利用計画に対する 知事意見概要

- 環境保全措置の選定に当たっては、事業計画の見直しを含めた複数の環境保全措置の比較討を行うこと。(知事意見 [全般]3)
- 盛土計画の見直し(知事意見 [事業計画]5盛土について)
- 湿原の保全だけでなく、水系の繋がりを保つことが重要である(知事意見[植物]24)

技術委員会では、環境の連続性の確保に関する指摘もありました。



1.3.2 事業計画見直し概要

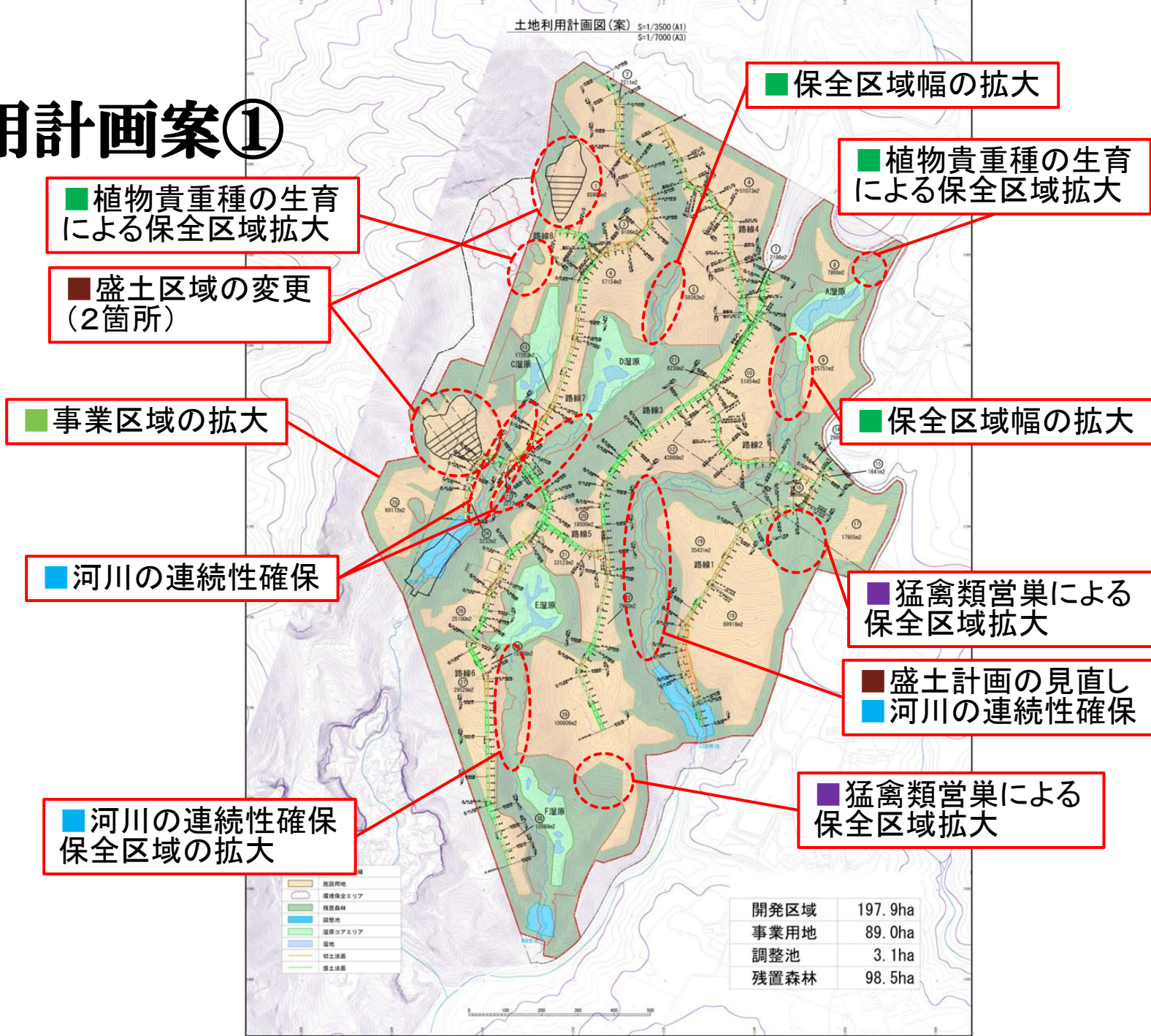
事業計画を方法書提出時より変更しました。

主な変更点は、以下のとおりです。

環境保全対策	事業計画の変更内容
湿地の保全	保全区域の拡大
植物貴重種生育地の保全	保全区域の拡大
河川の連続性の確保 動植物生息・生育環境の保全	盛土計画の見直し(残土の場外搬出) 保全区域幅の拡大 対象事業実施区域内での残土処理の見直し
猛禽類営巣地の保全	調整池計画の見直し(調整池を4箇所から3箇所に削減) 保全区域の拡大
事業計画全体	事業実施区域の拡大(8.5ha、4.3%増) 残森林区域割合の増大(43.6%から49.5%に増大)

1.3.3

土地利用計画案①



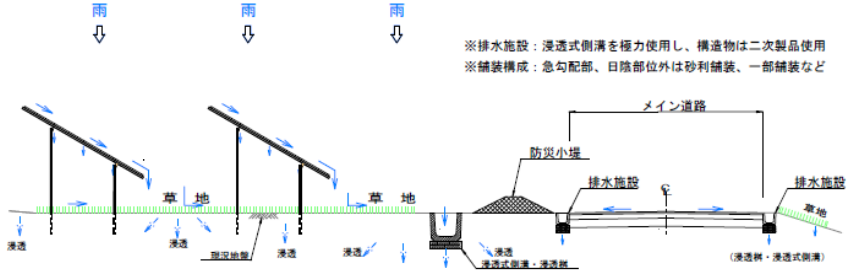
1.3.4 土地利用計画案② (最終)

環境への負荷軽減のため更に検討を重ね盛土計画を変更しました。

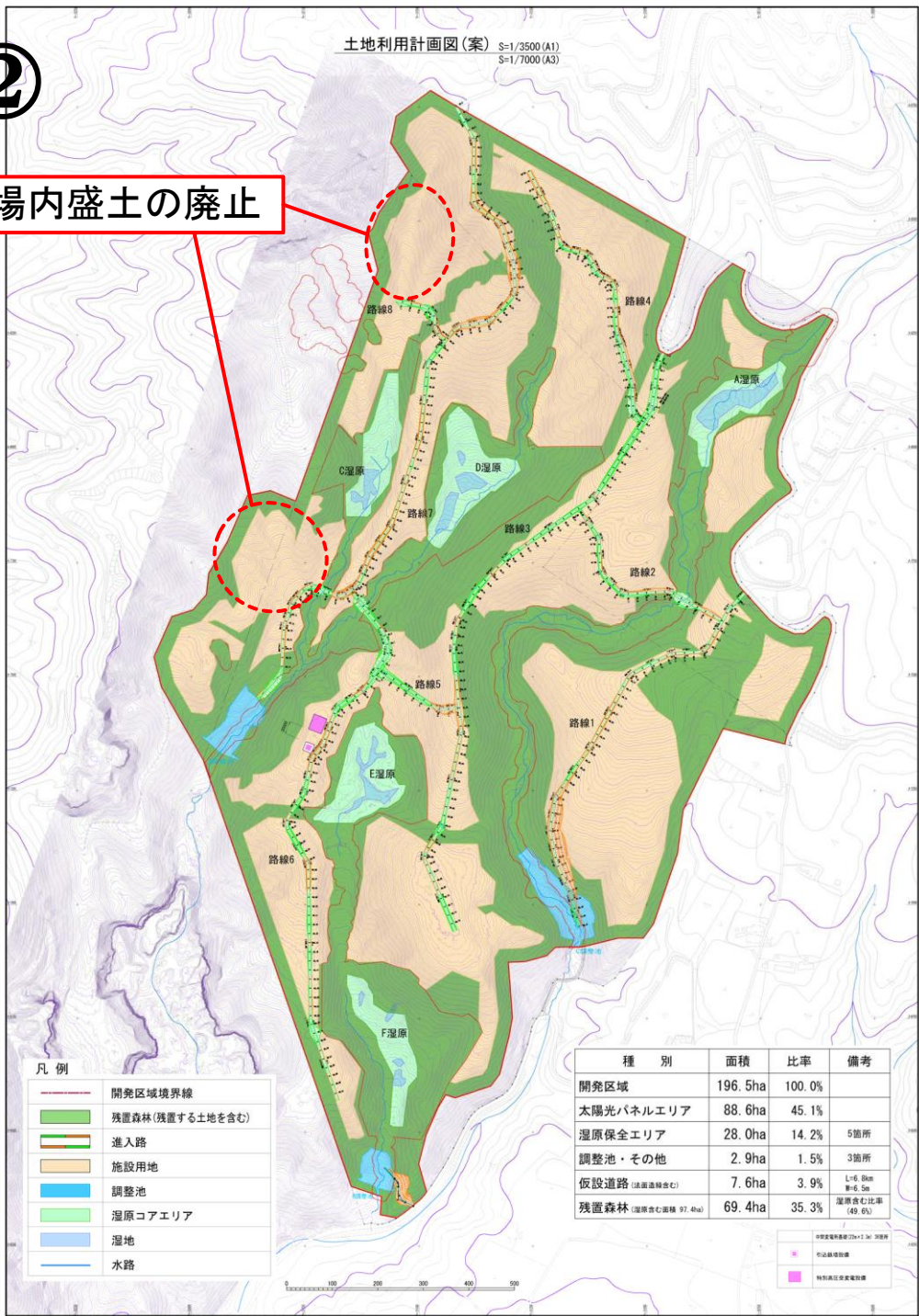
- 場内盛土の廃止(残土の場外搬出)

その他

- 地形を活かしたパネル設置
- パネル間は一定の間隔を保って配置
- 伐根はせず、立木伐採のみ
- 伐採木のチップ化は予定しない



降雨時イメージ案



1.3.5 建設残土搬出先

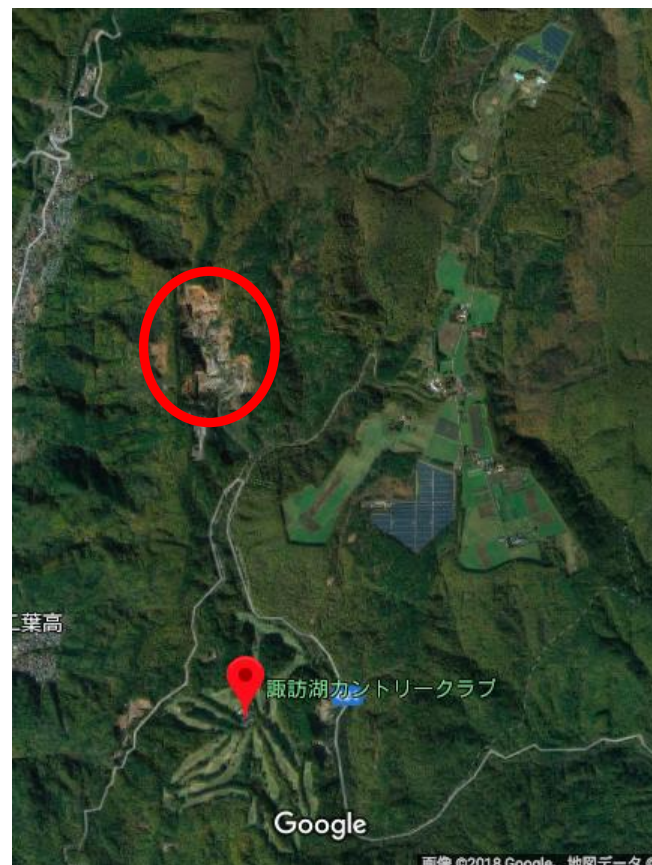
工事発生土は、隣接地の採石場に搬出する予定です。

工事発生土は、採石跡地の原状復帰に活用され、採石場における斜面崩壊等の災害防止対策を行う予定です。

搬出予定地



(googleMAPより引用)



1.3.6 工事工程概要

平成31年春の着工、平成34年の送電開始を目指しています。

工事期間は42か月間を予定し、防災工事、伐採工事の後、パネル据え付け工事、電気工事を行う計画です。

工事項目	平成31年 1年次	平成32年 2年次	平成33年 3年次	平成34年 4年次
準備工事	■			
土木工事 (防災工事、道路工事、造成工事等)	■			
電気・計装工事 (パネル、架台、変電所設置、配線等)		■		
試運転調整				■
系統連系工事 (中部電力㈱により実施)	■			